

平成 29 年度 日本学生経営学会

# 夏季全国大会

日時	2017 年 8 月 19 日(金) 会場受付開始時刻 09 : 30 開演 10 : 00 終演 16 : 00 懇親会 18 : 00
場所	松山生活文化センター(愛媛県松山市北持田 139-2)
主催校	日本学生経営学会 松山大学経営学研究部
参加大学	福岡大学・松山大学
後援	大阪商業大学総合経営学部教授・日本学生経営学会顧問 中津孝司教授 福岡大学商学部教授・日本学生経営学会顧問 合力知工教授

## 【目次】

目次	2
プログラム	3,4
顧問・理事長挨拶文	5-7
問題提起分	8
<午前の部>	
松山大学（清重、中西、松本）『IoT の今後の動向』	9
福岡大学（福地、古川、島田）『レジの自動化とコンビニ業界の未来』	10
<午後の部>	
総会資料	11-16
日本学生経営学会の方針	
会計報告	
会計監査報告	
書記広報報告	
渉外報告	
研究報告	

## 平成 29 年度 日本学生経営学会夏季全国大会 プログラム

日 時 2017 年 8 月 18 日 09:30～  
場 所 松山生活文化センター（愛媛県松山市北持田 139 - 2）  
松山生活文化センターHP <http://www.e-bunka.org/>  
(交通アクセス、キャンパスマップなど参照)  
大会テーマ 「日本の企業の見通し」  
顧 問 中津孝司(大阪商業大学総合経営学部教授)  
合力知工(福岡大学商学部教授)  
参加(加盟)校 甲南大学・福岡大学・松山大学

### 大会プログラム

受付開始	09:30～
開場	9:45～10:00
開演	10:00～10:15
開会宣言	
諸注意	
午前の部 発表(※発表 15 分,質疑応答 20 分)	
松山大学	10:20～10:55
福岡大学	11:05～11:40
昼食休憩	11:40～13:20
午後の部	13:30～14:00
アンケート記入	14:00～14:15
休憩	14:15～14:30
総会	14:30～15:00
顧問 合力教授の講評	

日本学生経営学会の方針

会計報告

会計監査報告

書記広報報告

渉外報告

結果発表・表彰

閉会宣言

懇親会

白樺 大街道

18:00～

## ご挨拶

大阪商業大学総合経営学部教授  
日本学生経営学会顧問  
中 津 孝 司

米国ではオバマ政権に代わって、トランプ政権が誕生したが、政権当初から不安定な状態が続いている。ロシアとの不透明な関係をめぐり、いわゆるロシアゲート。事件の先行きは予断を許さないけれども、驚かされるのは、ホワイトハウス(米大統領府)から情報が漏洩している事実である。

当然のことながら、政府高官には守秘義務がある。大統領周辺から生々しい情報が外部に漏れることなどあってはならない。組織が内部崩壊していることを意味する。俗に言う、学級崩壊。トランプ政権は学級崩壊状態にある。

組織の基本は構成メンバーが心をつなげて、目的に向かって邁進し、その目的を達成することにある。そうでない場合はもはや組織ではない。ただの集団に過ぎない。トランプ政権は組織としての機能を果たしてないわけだから、政権は崩壊だ。

学生諸君自身も経験があることだろう。ゼミ活動で、課外活動で、アルバイト先で経験していることだろう。組織が機能しているかどうか。経験知はすでに備わっているはずである。

「創造的破壊」—— その範囲は広く、かつ奥が深い。イノベーションとは技術革新という概念だけにとどまらない。日本政府が今、働き方改革(個人的には雇い方改革だと思うが)、岩盤規制の打破などと声高に叫んでいるが、煎じ詰めれば、すべては組織メンバーの意識改革というところにたどり着く。人の意識を根本的に変えないと、真の改革は成し遂げられない。つまり組織を抜本的に変革できないのである。

今回の学会テーマはイノベーションだと聞かすが、学生諸君には既成事実には縛られない、自由で闊達な議論を期待したい。言葉に発することで、理解していることと理解が不十分なことが明確になる。

最後になって恐縮だが、大会校を引き受けてくださった松山大学と関係者諸氏に感謝申し上げます。また、学会顧問で福岡大学商学部教授の合力知工先生には特段の謝意を申し上げます。心から感謝申し上げます。

## ご挨拶

福岡大学商学部教授  
日本学生経営学会顧問  
合 力 知 工

日本の製造業では、生産ラインの自動化や IT 技術導入の動きが加速しており、労働生産性は過去 20 年間の平均上昇率が主要 7 カ国（G7）中でトップとなっています。しかしその一方で、全産業の生産性の水準は最下位に甘んじており、その要因として、「サービス産業の生産性の低さ」や「ホワイトカラーの働き方の非効率性」などが指摘されています。

欧米と日本のホワイトカラーを比べた場合、構造的に効率化されていない仕組みが日本には温存されており、例えば、日本企業では、上司が帰らないから残っていたり、また、多すぎる会議のための資料作りに時間がかかったりなど、利益を生まない活動が日常茶飯事です。また、大企業の場合、重要案件ほど会議数や手続きが多くなり、そのため意思決定が遅くなり、結果として、採算性がよくないと気づいていながらも、当該事業を続けているというケースもよくあります。

日本の生産性水準（2010 年～12 年平均）を米国と比較した場合、製造業は米国の 7 割に対し、サービス産業は米国の 5 割にとどまっています。特に飲食・宿泊や卸・小売業といった分野の生産性は米国と大きな格差が生じており、サービス産業は、輸出を中心とした製造業ほど国際競争にさらされておらず、業務の効率化や IT 化が進んでいないことが生産性の伸び悩みにつながっています。

安倍政権はロボット技術の活用により生産性向上を目指しています。製造分野でロボット市場を 20 年までに倍増し 1.2 兆円規模とし、サービス分野などの非製造分野でも約 20 倍の 1.2 兆円を目標としています。

「長時間労働を前提とした働き方をどのように効率化していくか」「人手の過不足をどのように調整していくか」「採算性の悪い業務の効率化をどのように改善していくか」などの課題を、イノベーションやマーケティングを通じてどのように解決していくのか。

経済学者や経営学者の知見をただそのまま蓄積するだけでなく、それらを参考にして、皆さん自身がどのように考えていくかが重要です。

今回の大会では松山大学や日本学生経営学会理事会の皆さんに大変お世話になりました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

## ご挨拶

福岡大学経営学研究部  
日本学生経営学会 理事長  
藤木 康平

日本学生経営学会理事長を務めさせて頂いております、福岡大学の藤木康平と申します。このたびは、平成 29 年度日本学生経営学会夏季全国大会が無事開かれますことを心よりお喜び申し上げます。また、大会開催にあたり、新しく理事が発足して初めての大会ということもあり、二大学の理事メンバー、松山大学経営学研究部の皆様には大きなご協力を受け賜りました。この場をお借りいたしまして、感謝申し上げます。

今大会のテーマは、「日本の企業の見通し」です。IT 技術の進展に伴い、日本企業がこれからどのような環境でまたどのようなイノベーションを起こしていくのか様々な視点から考えていただき、前回大会と同様に各大学のユーモアあふれる素晴らしい発表を期待しております。また、発表者以外の方々にも積極的に大会に参加して頂き、単なる傍観者にならぬよう、活発な意見交換をして頂けることを願っております。

平成 29 年度日本学生経営学会では、前年度とは違い少ない人数で活動し、意見交換を行う中で迅速に行動できるようにしていきました。年間テーマといたしましては、前年度に引き続き、「渉外活動による加盟校の増加」を年間方針に設定し、活動を行ってきました。大会を開催するうえで加盟校を増やすことは最大の課題であり、今年度は参加校が二校と、年々減少をしています。しかし、今大会を通し、各校、切磋琢磨していきそれを発信することができれば加盟校を増やす手立てになるのではないかと考えます。

最後になりましたが、各大学の理事の方々や日本学生経営学会顧問の中津教授、合力教授そして、学会会員の皆様全員に感謝申し上げます。今回の夏季大会が素晴らしい大会になるよう、理事一同、全力を尽くして参りますのでよろしくお願い致します。

平成 29 年度 8 月  
平成 29 年度 日本学生経営学会

## 年間テーマ背景

### 『日本の企業の見通し』

昨年の学会では、企業を経営する上で必要な四大要素である「ヒト・モノ・カネ・情報」が現代の日本の企業でどのように活用されているかを研究し、発表を行った。企業経営を行う上でこの四大要素がいかに重要なものであるか改めて理解することができた。では、この四大要素を活かし顧客にサービスを届け、企業が儲けるためには何が必要であるだろうか。P・Fドラッカーは「企業の目的が顧客の創造であることから企業には2つの基本的な機能が存在することになる。すなわち、マーケティングとイノベーションである。」と唱えている。近年では技術革新はそのスピードをさらに加速させている。その流れの中でマーケティングとイノベーションはどのように変化してきたのか。例を挙げるとするとスマートフォンが挙げられる。スマートフォンというイノベーションによりインターネットはより身近になり、人間が情報を収集するのは紙媒体から電子媒体に移っている。マーケティングはそれに合わせさまざまに形態を変えてきた。

新しいニーズの創造というイノベーションとそれを顧客に届けるマーケティングが新しい市場を生み出すうえで必要なものである。今回は、日本企業をイノベーションとマーケティングという2つの視点から研究し、その見通しを各大学考えていただきたい。

## 夏季大会テーマ

### 「日本企業のイノベーション」

イノベーションの概念を最初に定義したのはJ・Aシュンペータである。シュンペータはイノベーションを生産要素の新結合、または創造的破壊活動として①新製品の開発、②新生産方法の導入、③新市場の開拓、④新しい資源、原料の獲得、⑤新しい組織の採用をあげた。また、P・Fドラッカーは「消費者や生産者の人間的行動に変化をもたらす影響力」と定義している。つまり上記を総括すると、イノベーションとは既存にはないサービス、製品、ビジネスモデルを創造し、世の中を変える大きな刷新を意味する。今回はこのイノベーションを日本のAI、ロボット、IOT、ドローンなどといった技術革新の面から各大学研究していただきたい。日本の企業の技術革新が人間の働き方にどのように影響を与え、企業全体の生産性の改善にどのように関係するのかを追跡し、イノベーションから見た日本企業の見通しを立てていただきたい。



## 「IoT」の今後の動向

松山大学経営学研究部

清重、中西、松本

IoTとはInternet of Things、つまり「モノのインターネット化」という意味であるが、この技術により、近年様々なモノがインターネットにつながり情報がやり取りされるようになった。例えば最近都市部では電子端末を用いて購入する自動販売機が普及している。それにもIoTが導入されており、購入者の年齢層を読みとり、個人におすすめの商品の情報を伝えることが可能となった。この機能の搭載によって売り上げが伸びたデータも存在する。同様なサービスとして回転寿司チェーン店による、客のニーズの可視化や品質管理に「ICチップ」を利用したものがある。回転する皿にICチップを配し、それらを分析することで何が多く売れているのか、またどの品の品質が悪くなっているかなどが即座に分かる。この店では、このシステムを導入する前と後で売り上げは約2倍、株価は約6倍も向上している。

以上のようなIoTを駆使したマーケティングによって各企業では売り上げを伸ばすことに成功している。しかしまだ発展途上のシステムであり、尚且つ認知度もまだ高くないのが現状である。ではその認知度を上げるためにはどうすればよいか、また更なる売り上げの向上やシステムの新たな利用方法にはどんなものがあるのだろうか。これらの調査を我々松山大学経営学研究部は行った。

### ～発表の流れ～

1. IoTとは
2. IoTの活用法
3. 実際の活用例
4. 将来的な実用性（見通し）
5. 結論



## レジの自動化とコンビニ業界の未来

福岡大学 経営学研究部

福地大輔

古川立輝

島田萌里

### 1.はじめに

今回は日本の技術革新の中で少子高齢化により人材不足に陥ってる小売業界のコンビニがレジの自動化を導入することにより働き手の負担を削減することが出来ると考えた。また AMAZON GO の例から IT 技術の促進に伴い子供や年寄りなどネット離れした人への考慮が必要になる。これよりコンビニ業界はどの年代の人でも利用しやすい事業を確立する必要がある。

### 2. 日本のコンビニ業界の現状

少子高齢化の影響もありコンビニ業界の労働者人口は足りておらず仕事量も多いため従業員の負担も大きい。

### 3. 機械の進歩による変化

ローソンではレジの自動化（レジロボ）の導入により従業員のレジ打ちの仕事を不要にすることができる。また商品のスキャンを一括して行うため消費者のレジでの待ち時間の短縮になり店の生産性も上がる。

### 4. AMAZON GO の例と問題点

AMAZON GO はシアトルに第一店舗を展開中の AMAZON 経営のコンビニでありレジが存在せずネット上で持ち帰った商品の精算をするような仕組みである。このためにネットでのアカウントの乗っ取りやアカウントを作成できないような子供やお年寄りには店の利用ができないという問題点がある。

### 5. 日本のコンビニの解決策

AMAZON GO の問題点からローソンのレジロボにファミリーマートで展開予定の支払いがレジでもネットの LINE の LINEPay でも可能な制度を取り入れることで年齢問わず誰でも使いやすいものになるだろう。

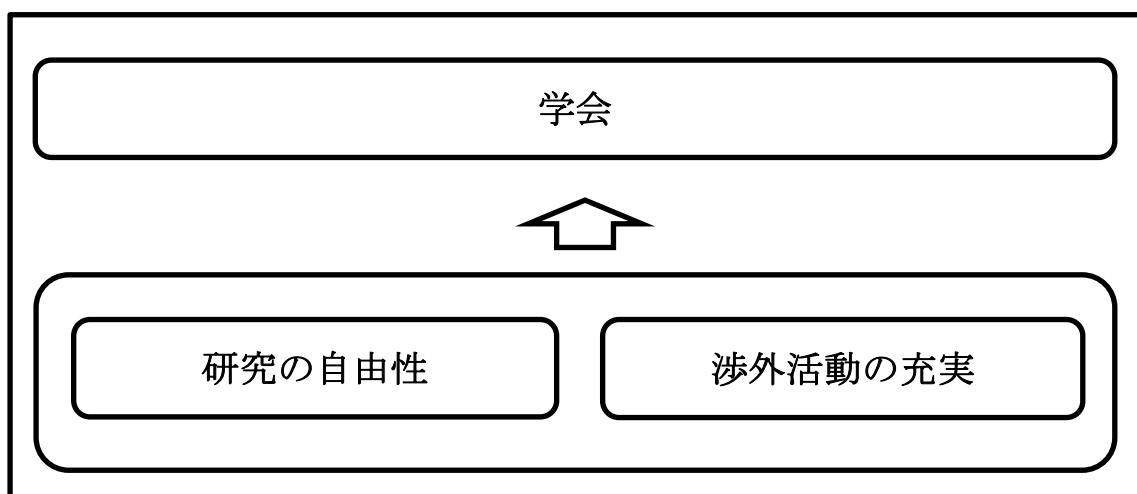
## 平成 29 年度 日本学生経営学会の方針

福岡大学理事 藤木 康平

### 【役職】

理事長	藤木 康平(福岡大学理事)
会計	尾崎 考輔(松山大学理事)
会計監査	古賀 功記(福岡大学理事)
書記	松本 明樹(福岡大学理事)
広報 兼 渉外	菅野 茜 (松山大学理事)
研究テーマ	稲葉 陵太(松山大学理事)
	中村 美里(松山大学理事)

### 【理事会の方針】



本年は、以上に掲げた「研究の自由性」「渉外活動の充実」の2つを理事会の方針とした。それぞれの内容については下に記してある。私たちが引き継ぎを迎えるまで、精力的に取り組んでいく。

### 【研究の自由性】

新しい視野からの研究

### 【渉外活動の充実】

各大学にアプローチをかける

# 会計報告

松山大学理事 尾崎 孝輔

## 1. 日本学生経営学会の連盟費

今年度の連盟費は各校一律 40,000 円とさせていただきます。

## 2. 本年度の予算

### 収入の部

前年度繰越金 253,043 円

連盟費 120,000 円

計 373,043 円

### 支出の部

理事会費 110,000 円

顧問料 30,000 円

大会運営費 12,000 円

渉外費 15,000 円

次年度繰越金 206,043 円

計 373,043 円

※理事会費は春合宿の交通費、宿泊費からなっています。

## 3. 本年度の収支(中間報告)

今回の報告では、資料作成(8月9日)時点での収支を報告します。

### 支出の部

#### 前年度冬大会費用

賞金 5,000 円

お弁当代 3,000 円

お茶代 2,154 円

渉外費 16,704 円

#### 春合宿費用

交通費 76,080 円

宿泊費 12,600 円

計 115,538 円

※渉外費は交通費と懇親会費からなっています。

## 4. 口座の金額について

現預金額の合計は 137,505 円です。

# 会計監査報告

福岡大学理事 古賀 功記

## 1. 会計監査の役割

会計監査という役職は、会計が正しく行われているか監査する役職です。本年度においては松山大学の尾崎が会計の役職についているため、福岡大学の古賀が会計の結果報告をさせていただきます。

なお、確認方法としては理事会の会計ノートに貼られている領収書と過去の会計報告を照らし合わせます。

## 2. 会計監査内容

会計監査として収支を以下の通り確認いたしました。

—収出の部—

### 前年度冬季大会費用

賞金	5,000 円
お弁当代	3,000 円
お茶代	2,154 円
渉外費	16,704 円

### 春合宿費用

交通費	76,080 円
宿泊費	12,600 円

計 115,538 円

前年度繰越金である 253,043 円に上記の収支を合わせた現預金が 137,505 円であることを確認し会計報告と相違ないことを確認しました。

# 書記広報報告

福岡大学理事 松本 明樹

松山大学理事 菅野 茜

## 1.前期の活動報告

### 書記

- ・議事録の作成(スカイプ会議)
- ・資料の共有・管理(One Drive)



### 広報

- ・SNS の管理・更新
- ・ホームページの管理・更新



## 2.学会 SNS のお知らせ



・ホームページ : <http://gakusei-ka.jimdo.com/>

・Facebook : <https://www.facebook.com/NihonGakuseiKeieiGakkai>  
いいね！ 100 件(H29 年度 8 月現在)

・Twitter : @gakusei\_ka  
フォロワー数 79 件(H29 年度 8 月現在)

## 3.総括

引継ぎに時間がかかってしまい十分な活動ができませんでした。後期は Skype 会議で決定した内容などの発信や、ホームページの更新などを行い広報活動に努めたいです。

# 渉外報告

松山大学理事 菅野 茜

## 1. 前期活動報告

今年度前半の渉外活動は、主に関西・九州・中四国地区の大学を中心に、大学ホームページや SNS(Twitter 等)を使つての調査を行いました。経営学会について研究活動を行っている団体にこちらから連絡をし、渉外活動を行いました。連絡をする際に、学会の説明・大会の概要などを明記した招待状を送付しました。

<調査もしくは渉外活動を実施した大学>

- ・島根県立大学
- ・香川大学
- ・高松大学
- ・兵庫県立大学
- ・神戸大学
- ・近畿大学

## 2. 今後の目標

今年度後期の渉外活動は、冬季大会に向け、引き続き関西・九州・中四国地区の渉外活動を行います。

広報を兼任することになり、渉外活動をする際に学会の SNS やホームページを活用しやすくなりました。今後は日本学生経営学会の知名度向上のため公式ホームページや SNS(Twitter や Facebook)などを活用した情報発信・加盟校募集を行っていきたいと思います。

# 研究報告

松山大学理事 稲葉 陵太

松山大学理事 中村 美里

## 1. 仕事内容

- ・テーマ 稲葉
- ・採点基準 中村

上記のように分担して作業を行いそして、お互いのものを添削しあい、意見を交換することで、より高い完成度のものを作り上げました。

- ① テーマの作成
- ② 評価シートの作成
- ③ 審査基準の作成
- ④ 注意事項の作成

## 2. テーマ及び採点基準の設定理由

テーマ設定理由は、世界中で IT 技術を活かしたイノベーションが起きている中で日本企業はどのような問題に着目して IT 技術を進歩させているのか、また、その問題を解決していくにはどのような技術を生み出していくのがよいかということを議論することは意義のあるものだと考えたからです。

採点基準は、パワーポイントの要旨がつかみやすく、工夫なされているかという採点基準を項目に入れました。理由としては、将来プレゼンテーションなどを行う際に活かせるような発表にしてほしいと考えたからです。

以上で活動報告を終わります。